

那覇法人会のあゆみ

| 年 度 | 会員数 | 法人会の動き | 社会の動き |
|------------------|--------|--|--|
| 昭和46年 (1971年) | 209社 | 沖縄青色申告会 法人部会として誕生 事務局、那覇市松山1-19-6 | ・沖縄返還協定、日米で同時調印 ・沖縄住民のドル、円交換で1ドル360円保証を決定 ・環境庁発足 ・マクドナルドが日本上陸 |
| 昭和47年 (1972年) | | 通貨切換に伴い会費を改定 沖縄の本土復帰に関する特別措置法とその政令について、研修会を集中的に開催 経営者大型保障制度の取扱い準備を開始 | ・5月15日、午前零時を期して琉球列島日本に復帰し 新生沖縄県誕生 ・戦後初代県知事に屋良朝苗氏就任 ・札幌冬季オリンピック開催 |
| 昭和48年 (1973年) | 631社 | 沖縄法人会創立(5月1日) 初代会長に座間味庸文氏就任 (沖縄青色申告会より法人部会を分離継承) 経営者大型保障制度を9月1日より推進 | ・復帰記念若夏国体開催 ・ソ連宇宙ステーション月面に軟着陸成功 ・産油国が原油の21%引き上げを決定。第1次石油危機到来 ・円が変動相場制に移行 |
| 昭和49年 (1974年) | 822社 | 第1回定期総会 (5月10日 会場 若松ホール) 沖縄税務署管内会員を中部青色申告会 法人部へ分離移管す(11月1日) | ・佐藤前首相、ノーベル平和賞受賞 ・コザ市と美里市が合併、沖縄市が誕生 ・三木内閣成立 |
| 昭和50年 (1975年) | 823社 | 那覇税務署長より青色申告制度施行25周年記念 感謝状を受賞する。 | ・沖縄国際海洋博覧会開催 ・那覇空港ターミナルビル完成 ・一般道路での2輪車のヘルメット着用義務化 |
| 昭和51年 (1976年) | 906社 | 第3回定期総会 役員の改選行われる。 (5月7日 会場 沖縄電信電話会館) | ・海洋博183日間の幕を閉じる。総入場者数348万人 ・具志堅用高氏、世界Jフライ級新チャンピオンとなる。 ・県知事に平良幸市氏当選 ・ノグチゲラ、イリオモテヤマネコ、カンムリワシ、国の特別天然記念物に指定 |
| 昭和52年 (1977年) | 917社 | 全法連主催、夏季特別研修会へ参加(24名) 鹿児島県霧島・ホテル林田温泉 | ・沖縄地籍明確化法案衆参本会議で可決成立 ・第1回沖縄の産業祭りが4会場で開催 ・33年忌の慰霊の日を迎える ・労働福祉会館が東町に開館 |
| 昭和53年 (1978年) | 885社 | 沖縄法人会連合会創立(11月14日) | ・交通方法が変更「人は右、車は左」本土並制度が発足 ・首里文化祭で49年ぶりに古代行列 ・新東京国際空港(成田空港)が開港 ・日中平和友好条約が北京で調印 ・円急騰、1ドル=108円を突破 |
| 昭和54年 (1979年) | 890社 | 全法連、第2回欧米税制研修団員として、照屋廣次 専務理事が欧米各国の税制、特に売上税、付加価値 税当について実態を調査研究の為、アメリカを初め9 カ国に派遣された。 | ・アジア発の東京サミット開催 ・琉大医学部スタート ・730一周年記念交通安全県民運動実施 ・ひめゆり部隊の女生徒ら(沖縄師範学校女子部と県立 第一高女)34年ぶりに卒業 |
| 昭和55年 (1980年) | 929社 | 全法連夏季特別研修会開催 (会場 労働福祉会館 現、東町会館) | ・県の都市モノレール研究委那覇市案、小禄~西原入り 口路線を承認 ・米大統領選でR・レーガン(共和党)が当選 ・巨人軍の王選手が引退 |
| 昭和56年 (1981年) | 1,006社 | 事務局、那覇市松山1-19-6より那覇市久米 2-3-19へ移転 座間味庸文会長 国税庁長官納税表彰受彰 | ・国勢調査による県の人口1,106,550人50年比6.1%増 ・那覇市と福州市が友好都市締結 ・国原村那覇岳で見つかったクイナ科の水鳥が新種である ことが判明。和名「ヤンバルクイナ」と命名。 |
| 昭和57年 (1982年) | 1,539社 | 北那覇税務署管内所属の会員を北那覇法人会へ 分離移管す。 | ・沖縄振興開発特別措置法改正(10年延長) 伊計大橋 開通(全長198m) ・友利正、WBCジュニアフライ級チャンピオンになる ・県知事で西銘順治氏が当選 ・日航機、羽田沖に墜落(死者24人) |
| 昭和58年 (1983年) | 1,113社 | 創立10周年 記念式典及び祝賀会を開催 (10月25日会場 パシフィックホテル沖縄) 沖縄国税事務所長より感謝状を受賞する。 | ・琉球銀行、県内企業で初の株式上場 ・宜名真トンネル(1045m)開通 ・東京ディズニーランド開園 |
| 昭和59年 (1984年) | 1,641社 | 沖縄法人会を発展的に解散し、名称も新たに 社団法人 那覇法人会を設立 社団法人設立記念誌発刊 5月18日沖縄国税事務所長より社団法人設立許可 沖縄国税事務所長より感謝状を受賞する 座間味庸文会長 大蔵大臣納税表彰受彰 | ・県、「首里城公園基本計画」を了承 ・イギリスと中国1997年に香港 返還に調印 ・FM沖縄開局 ・江崎グリコ社長誘拐されグリコ・森永事件発生 ・ロサンゼルス五輪開幕 ・1,000、5,000、10,000円の新札発行 |
| 昭和60年 (1985年) | 1,772社 | 上江洲由正副会長 国税庁長官納税表彰受彰 | ・第1回NANAマラソン開催 ・本部町の瀬底大橋(762m)が開通 ・科学万博「つくば85」開幕 ・羽田発大阪行きの日航ジャンボ機が群馬県御巣鷹山に 墜落。520人死亡生存者4人 |
| 昭和61年 (1986年) | 1,910社 | 「会報 那覇」創刊 | ・県下最大の鉄鋼橋泊大橋開通 ・沖縄県立芸大が開校 ・県知事選で西銘順治氏が3選 ・ウクライナのチェルノブイリ原発で爆発事故発生 ・伊豆三原山が209年ぶりに大噴火 |
| 昭和62年 (1987年) | 1,942社 | 座間味庸文会長 藍綬褒賞受彰 | ・海邦国体開催 ・日本の道百選に金城町の石室選ばれる ・沖縄銀行、東証に株式上場 ・沖縄自動車道、那覇-石川間が開通 ・国鉄が民営化、JR発足 |
| 昭和63年 (1988年) | 1,969社 | 創立15周年 記念式典及び祝賀会を開催 (6月3日 会場 パシフィックホテル沖縄) 記念誌(会員名簿)発刊 | ・夏の甲子園で沖縄水産がベスト4進出 ・自由貿易地域那覇地区がオープン ・ソウル五輪開幕 ・米大統領選で共和党ジョージ・ブッシュが当選 |
| 平成元年 (1989年) | 2,018社 | 消費税導入に伴い研修説明会を数多く開催 | ・昭和天皇崩御 年号「平成」 ・消費税(3%)導入 ・ひめゆり平和祈念資料館が開館 ・天安門事件起こる ・歌手の美空ひばり死去 |
| 平成2年 (1990年) | 2,298社 | 上江洲由正副会長 大蔵大臣納税表彰受彰 事務局、那覇市久米2-3-19より 那覇市壺川14へ移転 | ・東西ドイツ統一 ・夏の甲子園で沖縄水産が初の準優勝 ・県知事選で大田昌秀氏が当選。12年ぶりの革新県政 ・礼宮、川嶋紀子さんと結婚、秋篠宮家創立 ・イラク軍、クウェートに侵攻 |
| 平成3年 (1991年) | 2,390社 | 青年部会設立 初代会長に大城 浩氏就任 | ・最低資本金制度導入 (株)1000万円 (有) 300万円へ ・多国籍軍がイラク空爆を開始。湾岸戦争始まる。 ・雲仙普賢岳で大火砕流発生 |
| 平成4年 (1992年) | 2,563社 | 婦人部会設立 初代会長に糸嶺トヨ子氏就任 呉屋秀信副会長 国税庁長官納税表彰受彰 | ・復帰20周年記念の500円硬貨発売 ・首里城47年ぶりに復元される ・国家公務員の完全週休2日制がスタート ・バルセロナオリンピック開催 ・米大統領選でビル・クリントン当選 |
| 平成5年 (1993年) | 2,413社 | 創立20周年 記念式典及び祝賀会を開催 記念特別講演会開催 記念誌(会員名簿)発刊 第11回全国法人会総連合会大会 おきなわ大会(平成5年10月28日)開催 (会場 沖縄コンベンションセンター) | ・復帰20周年記念第44回植樹祭に天皇、皇后が初来県 ・宮古・八重山に民法TVスタート ・皇太子、大和田雅子さんと結婚の儀 ・細川連立政権誕生 ・Jリーグスタート |
| 平成6年 (1994年) | 2,593社 | 那覇法人会ピエオライブラリー開設 照屋廣次専務理事 国税庁長官納税表彰受彰 | ・私立名城大学開校 ・県知事選で大田昌秀氏再選 ・製造物責任法(PL法)施工 ・村山内閣誕生 ・関西国際空港開港 ・消費税5%に値上げを決定 |
| 平成7年 (1995年) | 2,735社 | 第二代会長に呉屋秀信氏就任 座間味庸文顧問 勲四等瑞宝章受彰 呉屋秀信会長 大蔵大臣納税表彰受彰 33の支部構成から30の支部・6地区構成へ 役員の定年制による退任基準導入 婦人部会から女性部会に名称変更 会報那覇から会報那覇法人会へ名称変更 | ・「平和の礎」が完成 ・県公文書館がオープン ・那覇大綱引、世界一のギネスブック認定 ・製造物責任法(PL法)施行 ・阪神大震災で死者5,500人余 ・オウム真理教による地下鉄サリン事件発生 |
| 平成8年 (1996年) | 2,779社 | 女性部会 第二代会長に新元貞子氏就任 | ・最低資本金制度 猶予期間平成8年3月31日まで ・沖縄都市モノレール着工 ・O157で食中毒広がる ・基地整理縮小で県民投票実施 |
| 平成9年 (1997年) | 2,907社 | 照屋廣次専務理事 大蔵大臣納税表彰受彰 会費改定(昭和59年社団化以来) 青年部会 第二代会長に桃原敏夫氏就任 社会貢献活動の一環として「ライトアップ推進事業」 支援募金活動を実施 | ・消費税 税率5%へ変更 ・臓器移植法成立 ・労働時間短縮週40時間労働制へ ・ダイアナ元英国皇太子妃、パリで事故死 ・香港返還 |
| 平成10年 (1998年) | 2,960社 | 創立25周年 記念式典及び祝賀会を開催 記念特別講演会開催 記念誌(会員名簿)発刊 那覇地区防犯協会長より「ライトアップ推進事業」 協力に対し感謝状を受賞す 女性部会 第三代会長に名幸諄子氏就任 | ・県内の失業率9.2%を記録、過去最悪 ・小淵内閣誕生 ・県知事選で稲嶺恵一氏(自民)が初当選 ・和歌山県でカレー毒物混入事件発生 |
| 平成11年 (1999年) | 2,971社 | 第三代会長に宇良宗真氏就任 第13回法人会全国青年の集い おきなわ大会(平成11年11月19日)開催 (会場 沖縄コンベンションセンター) 全法連 青年部会連絡協議会副会長に大城浩氏就任 | ・春のセンバツで沖縄尚学県勢初優勝 ・那覇市の識名園が国指定の特別名勝に選定される ・NY株1万ドル突破、米景気好調 ・欧州連合(EU)11カ国が単一通貨ユーロを導入 |
| 平成12年 (2000年) | 3,054社 | 平成12年度モデル法人会研究発表会 平成13年2月15日開催 (会場 沖縄ハーバービューホテル) 青年部会三代会長に吉田健伸氏就任 | ・九州・沖縄サミット開催 ・守礼門を因襲にした二千万円札発売 ・「グスク」を国際遺産登録 ・シドニー五輪開催 ・介護保険制度スタート ・三宅島噴火で全島避難 |
| 平成13年 (2001年) | 3,002社 | ホームページ開設(平成13年7月2日) 青年部会第四代会長に与儀喜一郎氏就任 | ・構造改革をきっかけに小泉内閣発足 ・米中核同時テロ ・米テロで沖縄観光に打撃 |
| 平成14年 (2002年) | 2,904社 | 女性部会第四代会長に大村静子氏就任 | ・沖縄本土復帰30周年 ・沖縄美ら海水族館オープン ・知事選で稲嶺恵一再選 ・拉致被害者5人が帰国 ・サッカーワールドカップ日韓共同開催 |
| 平成15年 (2003年) | 2,905社 | 創立30周年記念祝典及び祝賀会の開催 記念誌(会員名簿)発刊 記念講演会開催 会員等への記念品配布 アンケートの実施 青年部会主管『特別講演会』開催 女性部会主管『ゴルフ大会』開催 青年部会 第五代会長に東 良和氏就任 女性部会 第五代会長に鈴木啓子氏就任 | ・沖縄都市モノレール開通 ・台風14号、宮古島を襲う ・北谷町で中学生の死体発見。中三生ら逮捕 ・米英がイラク攻撃、イラク戦争勃発 ・フェイン元大統領拘束 ・邦人外交官2人がイラクで殺害 ・新型肺炎(SARS)が世界的流行、死者700人以上 |
| 平成16年 (2004年) | 2,825社 | | ・沖縄芸能の殿堂となる「国立劇場おきなわ」がオープン ・18歳宮里藍が女子プロゴルフ転向後4戦目で初優勝 ・イラク復興支援で自衛隊が南部のサマワ入り ・小泉内閣の閣僚に年金未納問題が発覚 ・新潟県中越地震発生 ・スマトラ沖地震津波発生で死者22万人超す |
| 平成17年 (2005年) | 2,828社 | 第4代会長に親泊一郎氏就任 【租税教室】第1回子供税教室バスツアー 青年部会 第6代会長に古波津 昇氏就任 女性部会 第6代会長に大城美智子氏就任 | ・合併でうま市・宮古島市が誕生 ・普天間移設先をキャンベッシュワ泊岸部に変更 ・宮里藍がW杯優勝などで活躍 ・衆院選で小泉自民党が296席の歴史的圧勝 ・郵政民営化法が再提出され成立 ・尼崎のJR西日本脱線事故107人が死亡 ・ロンドン・パリ島など各地で大規模テロ |
| 平成18年 (2006年) | 2,755社 | | ・北朝鮮が核実験、ミサイルも発射 ・イラク内戦状態、元大統領の死刑執行 ・冥王星、太陽系惑星から降格 ・サッカーW杯、イタリア優勝 ・仲井間県政が発足 ・県工事談合152社処分 |